

# 第七中学校区における市立こども園設置に関する説明会 会議録

(平成 29 年 9 月 4 日 開催分)

## 【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 9 月 4 日(月) 午後 1 時 15 分～午後 2 時 10 分 秋津幼稚園

## 【2. 出席者】

- ・ 保護者 17 名(年長組 9 名・年少組 8 名)、その他 2 名
- ・ 市立秋津幼稚園(井上園長・武藤教頭)
- ・ 習志野市(竹田こども部長・小澤こども部次長・小野寺こども政策課長・松岡同課施設係長・増谷同課主査・新井こども保育課指導研修係長)

## 【3. 内容】

- ・ 第七中学校区のこども園設置について

## 【4. 配布資料】

- ・ [別紙] 第七中学校区における市立こども園の設置について  
(平成 29 年 9 月 保護者・地域住民説明資料)

## 【5. 説明会概要】

### 1. 開会

＜竹田こども部長＞

今回の秋津幼稚園のこども園化については、保護者の皆様やふれあい広場利用者の皆様を対象に、まず、5 月 23 日に説明させていただきました。

その後、約 3 か月間、皆様に御不安、御心配をおかけし申し訳なく思っています。

ただ、こども部としては、子どもたちの環境改善のために、こども園化について説明させていただいていることは御理解いただきたいと思っています。

5 月 23 日の説明会以降、保護者や地域の皆様に御意見等を頂戴し、概ね方針が固まってきたので、本日、その方針について皆様に説明させていただきます。

### 2. 第七中学校区のこども園設置についての説明

＜小野寺こども政策課長＞

※ 別紙資料に基づき、市として決定した最終的な方針について説明をしました。

※ 市として、幼児期の重要な時期に適正な集団教育環境を整えることが最重要であるということで判断し、子どもたちの教育環境を最優先に考え、検討してきたことを説明しました。

※ 秋津・香澄地域を結ぶバス路線については、現在、保護者の皆様や地域の皆様からの御要望もあり、バス運営会社と協議していることを説明しました。

なお、路線の拡大については、バス運営会社の合意があつて実現できるものであり、今すぐ、確立することは明言できないことを併せて説明しました。

- ※ 新たなこども園の名称については、便宜上、これまでの説明会等で、(仮称)香澄こども園としていましたが、名称が決まっているものではなく、今後、保護者の皆様や地域の皆様と協議して決定していくことを説明しました。
- ※ 平成 29 年 9 月議会の中で、こども園整備の関係費用を補正予算として市議会に計上し、審議していただく予定であることを説明しました。
- ※ 今後、こども園の教育・保育に関することや職員配置のこと、秋津幼稚園跡の利用について、保護者の皆様に御相談させていただきたいことを報告しました。

### 3. 質疑応答

#### <保護者>

資料に「集団教育における幼児教育の目的の達成」で課題があるとなっています。一昨年まで、長男を秋津幼稚園に通わせていましたが、集団教育の観点から問題があるのでしょうか。

もしくは、そのような状況に問題があると、秋津や香澄幼稚園の保護者から話を聞いたり、そういう意見をアンケート等で確認しているのでしょうか。

子どもの教育は、当然、市でも責任を持っていただきますが、同等かそれ以上に親も責任を持っていますので、これまでの説明会で反対が多かったのではないのでしょうか。

秋津幼稚園を閉園する本当の理由は、経費の問題ではないのでしょうか。

市が目指す集団教育を資料等で示したのでしょうか。

保護者の中には、納得している人もいるかもしれませんが、個人的には説明がかなり足りないと思います。

#### <市>

平成 26 年度から 10 名を下回るということについては、課題として捉えていました。

幼稚園指導要領には、集団規模について 35 人という上限は定められていますが、下限値については定められていません。これまでの間に市立幼稚園の先生の中で、どの数が集団規模であるか議論してきた中で、子どもたちの教育環境、遊びの充実といったところからすると人数が少ないことは非常に厳しいという実態であります。

そもそも、市立幼稚園・保育所の再編の考え方としては、右肩下がりに園児数が減少する幼稚園教育を持続可能なものとするため、全国に先駆けてこども園に再編することとし、7つの中学校区に1つのこども園を整備することといたしました。

こども園には、未就園の保護者が相談でき、遊びの場として機能する子育て支援施設も併設いたします。

このように、こども園整備を計画的に取り組んでいるところです。

### <保護者>

習志野市として、こども園に移行することが一般的な話の中で、平成32年度以降にこども園化する計画を、子どもが少なくなったから前倒しするといった状況は分かりました。

そういう状況の中で、この辺に住んでいる親御さんの御意向とかは聞いているのでしょうか。もしくは、親御さんから1件でも早くこども園にしてほしいという要望はあったのでしょうか。

平成32年度まで少人数でいいという保護者がいらっしゃるのに、なぜ、前倒しするのでしょうか。ゆっくり時間をかけて説明するべきではないでしょうか。

### <市>

5月23日の説明会から保護者の皆様や地域の皆様から御意見等を頂戴し、確かに拙速ではないかという御意見を頂戴しております。

習志野市が目指す教育は、小学校入学前に適正な集団規模の中で様々な体験をし、小学校に繋げていくことです。

習志野市の市立幼稚園は、定員が50%を割り、30%を割り、20%を割り、定員が10名を下回る状況となっているところもあります。こういう状況の中で、幼稚園の園長や職員が検討を重ね、10名を下回った場合、集団教育を維持するのは厳しいとの結論を出しました。

これについては、既に説明会で説明してきた経過はございますが、やはり集団の中で子どもたちが豊かな経験をすることは大事なことであります。友達と関わって、集団遊びの中で、相手に譲るとか、ゲームを成立させるためにみんなで知恵を絞り新しい発想をするなどを経験していくことは重要であります。

また、単一クラスで園児が減少し続ける状況で、職員自体が切磋琢磨をして学んでいく機会が減少してしまうことも課題であります。

これらの課題を踏まえ、平成9年から今後の市立幼稚園のあり方をどうしたらいいか、検討を重ねてきました。

この結果、幼稚園と保育所機能を併せもったこども園へ再編することとなり、秋津・香澄幼稚園だけでなく、これまで15園あった幼稚園を最終的には7つのこども園に再編する方針を打ち立てました。

一番重要なことは、子どもたちにとって適正な集団規模、そして、習志野市がこれまで行ってきた教育・保育を未来に継続していくことです。

そのために7つのこども園を設置させていただきたいと考えています。

習志野市は、幼稚園だけでなく、保育所の運営も行わなければなりません。

そして、こどもセンターも設置して在宅支援も行うこととしていることから、7つの中学校区にこども園を再編することといたしました。

これは、これまでも地域の皆様に繰り返し説明し、取り組んでいることであり、財源の問題や職員の問題も含めて総合的に判断し、こども園という道を選択いたしました。

<保護者>

再編する理由に集団教育を挙げていますが、本当の理由は財源の問題ではないのですか。それなら、財源が厳しいから再編すると資料に書き込むべきではないでしょうか。

10人だと集団教育に問題があるとのことですが、私の子どもは、過去に秋津幼稚園に在籍し、10人の園児の中で教育を受け、現在、小学校で十分適応しています。

習志野市がこども園化するのには良いですが、そこに、地域の人々の意見がいついてきているかが問題であると考えます。

もし、いついてきていないなら何でやるのかということです。

結局、財源の問題じゃないでしょうか。そこを資料にきちんと書けば良いのではないのでしょうか。

<市>

現在、香澄幼稚園の年少は5名しかいません。

広い園庭や教室の中で不安な生活を送っています。こういった事態が起きている中で早急に改善したいと考えました。

<保護者>

香澄幼稚園の年少5名の保護者から、何か意見は出たのでしょうか。

<市>

特に意見は出ておりません。

しかし、市としては、適正な集団で、より良い豊かな経験をして育ててほしいと考えています。

市の専門職が10名という区切りをつけたのは、より良い方向に導きたいという考え方からであります。専門的見地から、長期的に見て、10名以下の教育が続くことは、望ましくないと判断いたしました。

<保護者>

専門的な意見とのことですが、私も大学で専門的な仕事をしています。

少なくとも親の意見が出ていないのに、どんどん進めるのはおかしいと思います。

<市>

小規模園の良さはありますが、計画訪問で香澄幼稚園を訪問した時に、3人での保育を目の当たりにしました。そういう場面を踏まえ、子どもたちが集団規模の中で切磋琢磨できるようにしたいというのが理由であります。

それ以外にも、御指摘のとおり財源の問題もございます。

1つの園を運営するには、4,000万円から5,000万円かかります。

さらに、職員の問題もございます。

5人のクラスを担当する教師と、30人を担当する教師のどちらが能力を上げていくことができるかと言いますと、ある程度一定規模のクラスを担当する教師の方がどんどん成長していきます。

昨年の入園募集時の香澄幼稚園の申込児童数は4名で、その際、4名の保護者一人ひとりに1クラスが4名になってしまうことを伝えましたが、少人数の良さがわかって申込しているので、是非お願いしますとの回答がありました。

最終的に、募集時において、条件を付けていなかったことや、保護者の御意見を尊重して子どもたちをお預かりすることといたしました。

しかしながら、5名の運営には苦慮しているのが現状です。

その中で小学校や近隣の幼稚園、保育所に出向き、何とか集団教育を提供しようとしています。香澄幼稚園の5名という現状を考えますと、地域一体、習志野市一体で、教育・保育を考えた中で、決断させていただきました。

#### <保護者>

5月の説明会のときは、まだ、決定ではなく、これから協議していきたいと話をして、7月20日は一方的に話をされ、今日は最終方針の説明となりました。

私たちは納得していません。いくら言っても反映されないのと言うことがなくなってきていますが、どういう経緯で決定したのでしょうか。

#### <市>

7月11日に説明会を開催し、その後、夏休み前には最終的な方針を皆様にお伝えするつもりでしたが、地域の皆様方との協議が整わず、最終方針を決めることができませんでした。7月20日は、夏休みに入る前に保護者の皆様に現状を伝えるために開催したものということで御理解いただきたいです。

その後、7月下旬から8月下旬にかけて、副市長、こども部長が連合町会、地域の皆様と何度かお話をさせていただき、その中で、本日お話しさせていただいた、路線バスの問題や平成30年度に秋津幼稚園に入園されるお子様をそのまま同じ場所で卒園することについて提案を受け、市としてできることを取り入れさせていただきました。

このようにお話を続け、8月23日に開催された教育委員会会議において、来年度の園児募集について教育委員会会議の承認を受けるなかで、今回の方針に至りました。

本来なら、直接、皆様に御説明する機会を設けるべきでありましたが御理解いただきしたいと思います。

#### 4. 閉会

#### 《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)